

## 「一緒に歩む仲間が人生の財産」

弘前じえんだあ学習グループ くまづき

## ★結成のいきなり

弘前じえんだあ学習グループ くまづきは平成十八年四月に横浜中華街で結成された。メンバーは弘前きらめき女性塾の卒業生たちが立ちあげた団体「きらめき会」で知り合った三人である。なぜこの三人だったのかは今もなお謎である。前日、私たちは千葉県松戸市で開催されたフォーラム「学びから実践へ Part 2 in まつどくわたし」と女性センター」に参加していた。松戸の女性パワーにおおいに刺激を受けた私たちは今後の学習への思いを新たにしました。翌日の昼食時、とりあえずグループ名をとることに「気づくことを大事にしよう」というメンバーの意向で命名された。

## ★学習の始まり

メンバーの一人が親しくしていた当時「さいたま市男女共同参画センター事業コーディネーター」の下村美恵子さんに私たちの学習会の講師を依頼した。その時快諾してくださった下村さんに「じゃ、何を勉強したい

の？」と聞かれ言葉に詰まってしまった。漠然と「女性学」としか考えていなかった私たちは下村さんに引っ張られるように学習を始めることになった。

## ★これまでの主な活動

グループ結成の翌月、平成十八年五月からさっそく「暮らしと女性学」と題して四回シリーズの講座を開始した。下村さんとの学習を始めてから私たちのグループは毎週水曜日を「学習の日」として定例化した。初めのころは、もっぱら講座のふり返りをしながら講座内容を記録として残す作業をした。四回の講座を終えて翌年三月に冊子「学びの記録」を完成させたときの満足感は言葉にできない特別な感情だった。私たちの学習の成果として参画日より「まなぼ」のページで報告させてもらった経緯がある。

プライベートでも何かと忙しいメンバーに特別なことがない限り集まり続け、気がつけば十二年を経過したことになる。この間いろいろな活動を続けてきた。「男女共同参画推進のための

講座」を主催し、講座の企画から運営までのノウハウを学んだことで、一年に一回は自分たちが講座を企画運営していくことを目標に掲げ実践することができた。特に好評だったのは「離婚を考えた時」を知って得する法律知識で、講師選びや講師依頼の作業などで苦労したが意義ある講座となった。町会などからの依頼で男女共同参画をテーマにした「出前講座」にでかけた。「秋の弘前公園を巡るガイドツアー」の開催。弘前市主催の「さんかくシアター」では上映作品の選定から運営まで協力した。今年も代表の強い思いでドキュメンタリー映画「つ・む・ぐ」と「麻てらす」の上映会を開催した。思いのほか多数の方々が集まってくださり大盛況だった。また新しい企画として活動資金のために「フリーマーケット」を開催してみた。

誰かが言い出したことに「否定することなく」その思いを共有し、楽しみながら進めていく。これはひとえにくまづきの活動に賛同して集まってくれる仲

間がいてこそできることでもある。

## ★今後

水曜日定例の「集まり」は今後も継続されていく。年一回の宿泊研修や数回の懇親会で親睦を深めながら、何かを実践した後は必ず振り返り、反省したことは次につなげる。日常生活の中で気づいた「これっておかしくない?」「それでいいの?」という疑問がその日の学習の課題になることもある。下村さんがいつもお話ししていた「女性問題は社会の問題として考える」ということを忘れず、私たちの学習はゆつくり一步一步進んでいく…。



吉岡敏朗監督（後方左）とドキュメンタリー映画「麻てらす」の上映会にて